



公益社団法人

福岡県医師会

FUKUOKA PREFECTURE MEDICAL ASSOCIATION

サイト内検索

サイトマップ

お問い合わせ

トップ

県民の皆様

医師の皆様

アクセス

リンク

会員専用



## 感染症発生動向調査 週間コメント

《疾病別 推移グラフ》

209899

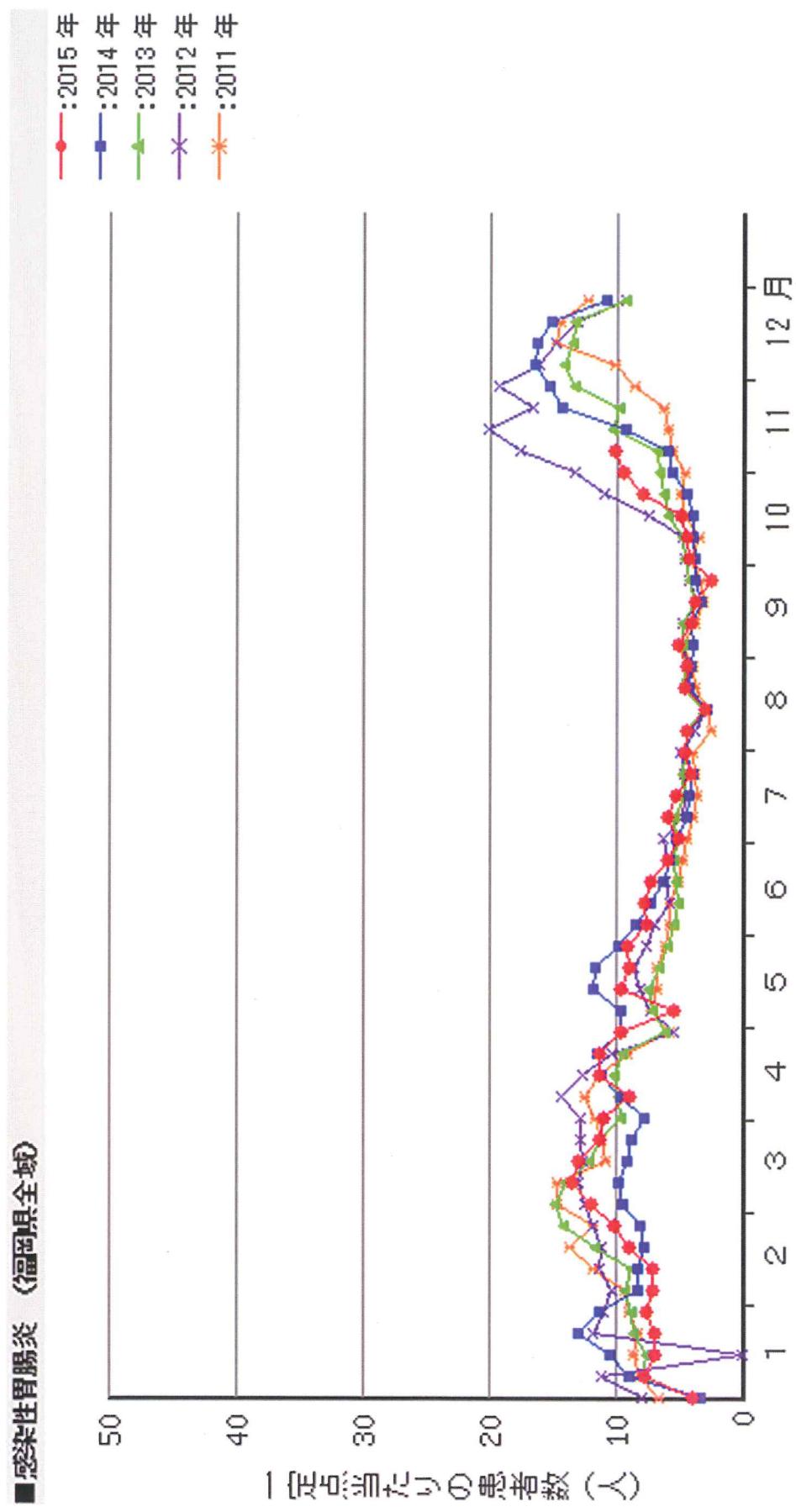
第45週 (H27.11.2~H27.11.8)

## ■今週のトピックス

今週(第45週:11/2-11/8)はA群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎が増加しています。感染性胃腸炎はノロの報告が増えています。伝染性紅斑、流行性耳下腺炎、マイコプラズマ肺炎、流行性角結膜炎等は報告が多い状態が続いています。インフルエンザは横ばいでA+の報告が多く、RSウイルス感染症はやや減少しています。

病名	報告数	前週比	主な増加地区等	1定点当たりの患者数	
				福岡県	全国
インフルエンザ	30	-9	福岡18、北九州11	0.15	0.11
RSウイルス感染症	73	66%	福岡33、北九州21	0.61	1.51
咽頭結膜熱	72	82%	福岡51、北九州13	0.60	0.33
A群溶連菌咽頭炎	356	107%	福岡222、北九州77	2.97	2.28
感染性胃腸炎	1215	107%	福岡612、北九州322	10.13	5.06
水痘	49	198%	福岡27、北九州9	0.41	0.41
手足口病	38	-12	北九州15、筑後12	0.32	0.64
伝染性紅斑	91	141%	福岡47、北九州34	0.76	0.47
突発性発しん	112	110%	福岡50、北九州29	0.93	0.52
百日咳	1	±0	福岡1	0.01	0.02
風しん	0	±0		0.00	
ヘルパンギーナ	5	-4	北九州4、筑後1	0.04	0.10
麻しん	0	±0		0.00	
流行性耳下腺炎	182	137%	福岡83、筑後78	1.52	0.54
川崎病(MCLS)	7	+6	福岡6、筑後1	0.06	
マイコプラズマ肺炎	83	93%	福岡47、筑後20	0.69	0.64
クラミジア肺炎	1	-1	北九州1	0.01	0.03
細菌性髄膜炎	0	±0		0.00	0.01
無菌性髄膜炎	2	+1	北九州2	0.02	0.05
急性脳炎	0	±0		0.00	
急性出血性結膜炎	0	-5		0.00	0.02
流行性角結膜炎	43	61%	福岡20、筑豊14	1.65	0.88
性器クラミジア感染症	18	+2	福岡10、筑後3	0.49	
性器ヘルペス	5	-5	筑後2、福岡2	0.14	
尖圭コンジローマ	6	+2	福岡6	0.16	
淋菌感染症	13	+5	北九州6、福岡6	0.35	
梅毒	0	±0		0.00	

## 福岡県内の発生状況(速報値) (第45週 H27.11.2~H27.11.8現在)



## 感染性胃腸炎の流行状況

	定点当たり報告数	ノロウイルス報告：小児科定点
41週(10月5日から11日)	4.35(3.84)	3(2)例
42週(10月12日から18日)	4.92(3.93)	6(2)例
43週(10月19日から25日)	7.91(2.13)	31(9)例
44週(10月26日から11月1日)	9.37(5.63)	35(30)例
45週(11月2日から8日)	10.13(5.98)	52(51)例
46週(11月9日から15日)	(9.28)	(51)例

## 新規遺伝子型ノロウイルス GII.P17-GII17 の流行 (IASR 2015.9月号)

ノロウイルスは5つの遺伝子群 GI～GV、うちヒトに感染するのは GI、GII、GIV

さらに GI は 9 種類、GII は 22 種類の遺伝子型に分類される

2014年3月に川崎市に搬入された検体から分離されたウイルスに対して新しい遺伝子型番号 GII.P17 が付与された。これまでの遺伝子型のウイルスと抗原性が異なるため免疫を持っていないと考えられる

2014/2015 シーズンに関東近隣の自治体で流行。特に 2015 年に入って増加している  
中国やアジア地域での検出数が増加している

GII4 に比べ迅速診断キットの反応性がわるい (キットが偽陰性になる可能性)

表. 関東近隣 4 自治体 (川崎市、長野県、埼玉県ならびに栃木県) におけるノロウイルス遺伝子型別陽性事例数

遺伝子型\月	2013年			2014年												2015年		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
GI.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
GI.2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	2
GI.3	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
GI.4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
GI.6	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
GI.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
GII.2	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-
GII.3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	1
GII.4	-	8	24	32	6	9	4	1	-	-	-	-	-	11	29	14	4	4
GII.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
GII.6	1	1	7	5	3	2	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
GII.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
GII.14	-	-	2	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
GII.17	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	6	9	18

# 冬は特にご注意！

食品を取扱う方々へ

## ノロウイルスによる食中毒

食中毒は夏だけではありません。  
ウイルスによる食中毒が  
冬に多発しています!!!

データでみると

### ノロウイルスによる食中毒は、

◆患者数で第1位



◆冬期に多い



◆大規模な食中毒になりやすい

ノロウイルス	36.2人
その他	13.7人

原因別の食中毒患者数（年間）

食中毒1件あたりの患者数

※出典：食中毒統計（平成22～26年の平均。病原物質が判明している食中毒に限る）

## ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

### 調理する人の 健康管理

- 普段から感染しないように食べ物のや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取扱う作業をしない。
- 症状があるときに、すぐに責任者に報告する仕組みをつくる。

### 作業前などの

#### 手洗い

- 洗うタイミングは、
  - トイレに行ったあと
  - 調理施設に入る前
  - 料理の盛付けの前
  - 次の調理作業に入る前
- 汚れの残りやすいところをていねいに
  - 指先、指の間、爪の間
  - 親指の周り
  - 手首、手の甲

### 調理器具の

#### 消毒

洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法又はこれと同等の効果を有する方法で消毒する。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。  
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

ノロウイルスQ&A

検索



厚生労働省

# ノロウイルスの感染を広げないために

## 食器・環境・ リネン類などの 消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器等は、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素消毒液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素消毒液などで消毒します。
  - 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブなど）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときは、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗いし、十分すぎます。
  - 85℃で1分間以上の熱水洗濯や、塩素消毒液による消毒が有効です。
  - 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

## 消毒

## おう吐物などの 処理

○患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入りて感染することがあります。

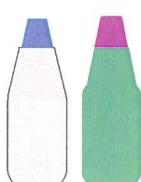
- 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
- ペーパータオル等で静かに拭き取り、塩素消毒後、水ぶきをします。
- 拭き取ったおう吐物や手袋などは、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1000ppmの塩素消毒液に浸します。
- しぶきなどを吸い込まないようにします。
- 終わったら、ていねいに手を洗います。

## 塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

\*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。

製品の濃度	食器、カーテンなどの 消毒 や 拭き取り 200ppmの濃度の塩素消毒液		おう吐物などの 廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppmの濃度の塩素消毒液	
	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L



➢製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。

➢次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。

➢おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生する事がありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。

➢消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。

## ノロウイルスによる感染について

### 感染経路

#### <食品からの感染>

- 感染した人が調理などをして汚染された食品
- ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など

#### <人からの感染>

- 患者のふん便やおう吐物からの二次感染
- 家庭や施設内などでの飛沫などによる感染

### 症状

#### <潜伏時間>

感染から発症まで24~48時間

#### <主な症状>

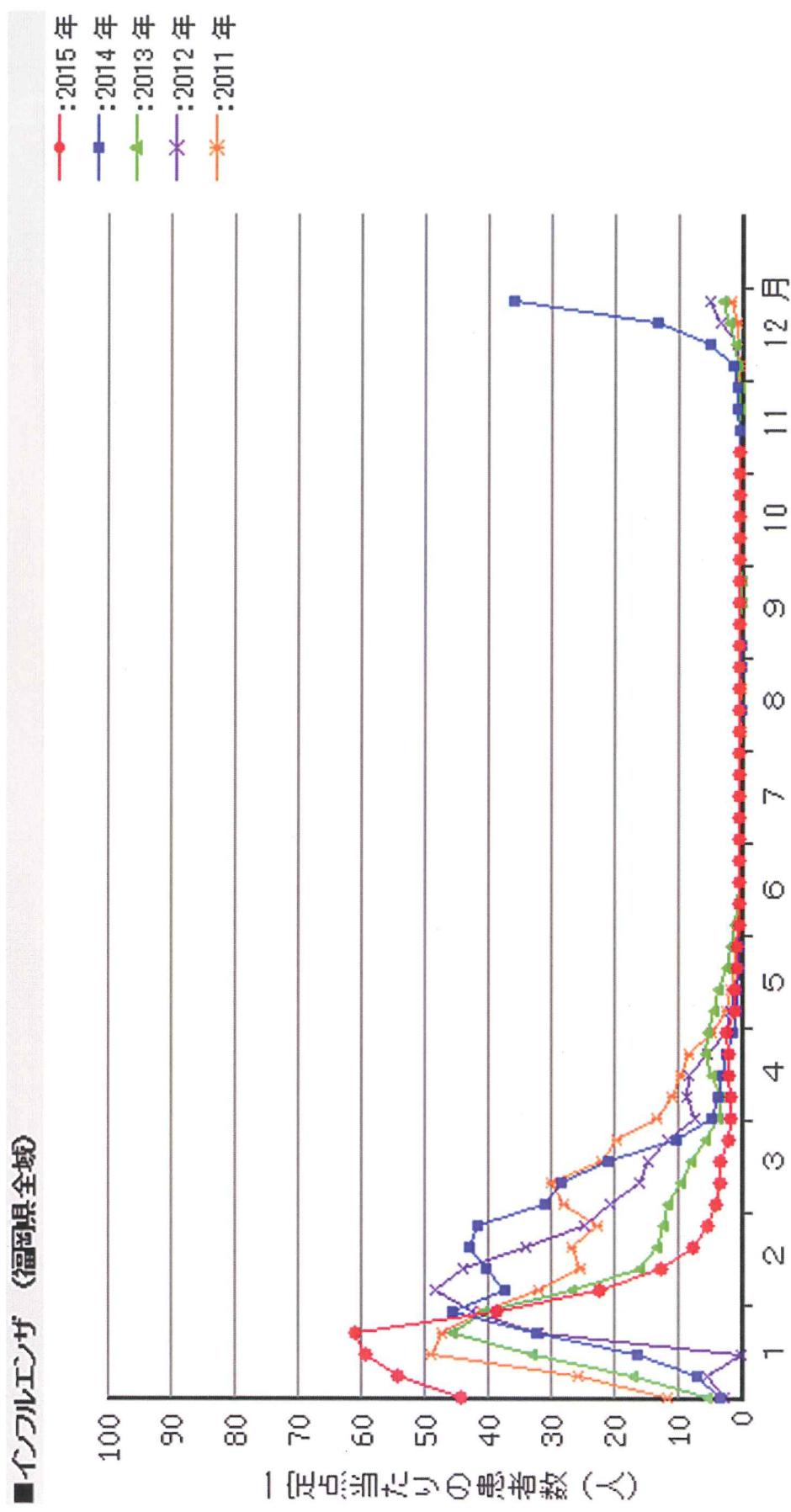
- 吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1~2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。
- 乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

# できていますか？衛生的な手洗い



**2度洗いが効果的です！**  
2~9までの手順をくり返し2度洗いで菌やウイルスを洗い流しましょう。

## 福岡県内の発生状況(速報値) (第45週 H27.11.2～H27.11.8現在)



過去10年間のインフルエンザの定点当たり報告数が基準値をこえた週

	福岡	2006-2007	2007-2008	2008-2009	2009-2010	2010-2011	2011-2012	2012-2013	2013-2014	2014-2015	2015-2016
流行開始(1.0)	3	51	50	33	50	52	50	51	49	49	?
注意報(10.0)	6	4	2	40	1	3	2	3	51	51	?
警報(30.0)	8	4	42	3	4	3	4	4	52	52	?
最大値(週)	60.03(11)	20.35(8)	44.28(4)	63.62(48)	48.97(3)	48.03(6)	45.84(4)	45.57(5)	60.72(4)		
30	12	6	50	11	8	5	5	10	5	5	
10	14	11	53	15	13	10	10	13	7	7	
1	18	16	19	8	20	19	22	18	18	18	
全国	2006-2007	2007-2008	2008-2009	2009-2010	2010-2011	2011-2012	2012-2013	2013-2014	2014-2015	2015-2016	
流行開始(1.0)	3	47	49	33	50	49	50	51	48	48	?
注意報(10.0)	7	4	2	41	2	3	2	3	51	51	?
警報(30.0)	11	4	44	4	4	4	4	5	2	2	?
最大値(週)	32.95(11)	17.7(5)	37.48(4)	39.66(48)	31.88(4)	42.62(5)	36.44(4)	34.44(5)	39.42(4)		